

「BCJ Books-10 構造計算適合性判定を踏まえた建築物の 構造設計実務のポイント」 正誤表

(第1版第1刷、第2刷用)

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正しお詫び申し上げます。

最新の正誤表については、(一財)日本建築センターホームページ/書籍販売 (<http://www.bcj.or.jp/>) でご確認下さい。

2017/6/5

該当箇所		誤	正
頁	行		
65	上から 5行目	共通するものです。	共通するものです。
96	下から 5行目	$=1, 531\text{N/mm}^2$	$=1, 531\text{N/mm}$
112	下から 7行目	${}_j M_y = {}_j M_{fu} \cdot {}_j M_{wu}$	${}_j M_u = {}_j M_{fu} + {}_j M_{wu}$
116	上から 8行目	${}_j M_u = {}_j M_{fu} \cdot {}_j M_{wu}$	${}_j M_u = {}_j M_{fu} + {}_j M_{wu}$
142	上から 10行目	また、圧縮ブレース	また、圧縮ブレース
193	下から 10行目	ただし、積層ゴム内部の圧力分布が水平変形に応じて $P \cdot \delta$ 効果自体を打ち消すように変化するため、免震部材の接合部の検討においては、図1(a)の $P \cdot \delta$ による付加曲げは考慮しなくてよいとされています ¹⁾ 。	(削除)
210	上から 1行目	基礎梁なしの基礎	基礎梁なしの直接基礎